

阿波市議会だより

第41号

年4回発行
[平成28年12月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764
ホームページアドレス <http://www.city.awa.lg.jp/gikai/>

平成28年第3回 阿波市議会定例会の概要

第3回定例会は、9月5日から29日までの25日間の会期が開かれました。開会日には野崎市長から、病児・病後児保育事業について、阿波市消防団救援機動隊発足について等の行政報告と、県選出国会議員及び関係省庁等への要望活動について報告がありました。

また、平成27年度一般会計、特別会計及び水道事業会計の決算認定、平成28年度一般会計補正予算などの議案について概要と提案理由の説明がありました。このあと決算審査特別委員会が設置されました。

代表・一般質問は14日、15日の2日間にわたり行われ、10月25日、第1回臨時会が1日間の会期で開かれ、平成28年度阿波市一般会計補正予算が提出され可決されました。また、副議長の辞職に伴う選挙が行われ、新副議長

10人が市政全般について理事者の考えを問い、阿波市総合戦略、財政、公共施設、教育・子育て支援、福祉関係、建設・農業振興等について議論しました。

21日に総務、産業建設、23日に文教厚生各常任委員会、26日に決算審査特別委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

閉会日には、委員長による各常任委員会及び決算審査特別委員会の審査報告があり、市長提出議案をいずれも認定及び可決し、追加議案として人事案件2件が提出され同意しました。

平成28年第1回 阿波市議会臨時会の概要

10月25日、第1回臨時会が1日間の会期で開かれ、平成28年度阿波市一般会計補正予算が提出され可決されました。また、副議長の辞職に伴う選挙が行われ、新副議長

に森本節弘議員が就任しました。そのあと、藤川豊治議員に対する議員辞職勧告決議案が提出され、賛成多数で可決しました。

川人 敏男 議員

(明日の阿波市をつくる会)
9月26日から志政クラブ)



問 情報システムの有効活用は、業務の合理化・迅速化等にもどうしても必要になってくる。これを下支えるために、若手職員を中心に情報推進委員会を立ち上げてはどうか。

答 情報化の進展は、目覚ましいものがある。このため情報化検討委員会を早急に立ち上げ、幅広い観点から業務内容を研究・検討してまいりたい。

問 「広報阿波」は企画総務部が所管し、専任の職員が担当。テレビ広報は富士通ネットワークソリューションズに民間委託し、さらに下請け業者が取材等を行っている。一貫性のある広報を展開するため、テレビ広報も市が直接所管してはどうか。

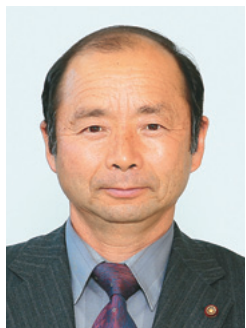
答 ケーブルネットワーク施設放送番組審議会を市が設置し、ご意見・ご提言を聞きながら、原稿や編集をチェックしている。

問 新庁舎及びアエルワの外壁タイルの施工ミスは補修したが、これ以外にも施工ミス憂慮されている。瑕疵補修の請求期限は3ヵ月後に迫っている。再点検に向けての進捗状況を伺いたい。

答 10月上旬に外部の専門家による瑕疵調査有識者会議を立ち上げてアドバイスをいただく。11月上旬に再検査を行い、瑕疵補修を要するものは施工業者に補修を指示する。

吉田 稔 議員

(阿波清風会)



問 家庭の所得格差が教育格差を生む傾向にあるが、公教育の充実が必要では。

答 教職員の指導力向上はもとより、TT(チームティーチング)指導や放課後学習を行うために市単独で助教員や学力向上推進講師、英語講師を配置。また夏季休業日の短縮を行い、学力や生き抜く力の育成を図っている。

問 市賞与等の奨学金受給者が阿波市に将来定住される場合、奨学金返還額の一部を減免してはどうか。

答 本市へのUIJターン者への奨学金返還額の一部助成を検討したい。

問 旧阿波庁舎を、認定こども園や子育て支援センターへの活用を考えてはどうか。

答 色々な選択肢があるが、地域の活性化につながる有効活用を考えたい。

問 市職員の技能や見識、資質、人間性の向上はどのようにされているのか。

答 阿波市人材育成基本方針を作成しており、職員研修制度の充実、人事評価制度の確立とも連携させ、人材育成を図り、市民サービスの向上につなげたい。

代表質問

谷 美知代 議員

(阿波みどり)



問 阿波市総合戦略子育てするなら阿波市の実現に向けて。従業員の育児参加や育児休暇取得を支援するために事業主に仕事と育児をしやすい環境整備に努める必要があるが、どうしているのか。

答 放課後児童クラブの運営の充実、イクボス推進事業、男性の育児休暇取得促進など、市内企業への研修や啓発促進、パンフレットの配布、阿波市のホームページをツールとした子育ての情報発信の強化に努め、企業や団体で働く労働者に対し、行政サービス情報の周知を行っている。

問 小・中学校のエアコン設置の進捗状況は。

答 現在導入機器を、電気式にするか、LPガス式にするか比較検討している。平成30年度末までに市内すべての小・中学校へのエアコン設置に向け積極的に取り組んでいく。

問 若者の政治への関心について。若い世代が選挙に関心を持っている仕組みをどのように行っているのか。

答 教育委員会等と連携しながら、選挙を身近なものと感じるようなわかりやすい選挙制度についての事業を行う。また広報阿波、ACNの文字放送、ホームページ等を活用して選挙啓発を行い、県選挙管理委員会をはじめ、各関係機関と連携し情報収集に努め、地域の実情に応じた効果的な啓発活動ができるよう考えていく。

問 予算編成方式について。

答 阿波市の総合計画を最上位と位置付け、各局局で策定している約30に上る個別の実施計画を基に予算要求することとしている。財源の確保を確実に図ると共に、事業評価シートを参考にシリーク方式と積み上げ方式の併用要求としている。

問 国は財政診断の必要性を強調しているが、これからの地方公会計をどのように整備していくのか。

答 阿波市では総務省方式の改訂モデルを採用しているが、複式簿記を導入していないことや公共施設などのマネジメントにも資する固定資産台帳の整備が十分でないなどの課題があること

問 英語教育の充実に向けた取り組みについて。

答 小・中・高の連携した英語教育の取り組みについて。

榎原 伸 議員

(阿波清風会)



問 阿波市の地震対策は、南海トラフの地震を想定して、防災計画を作ってきたが、起これば本市にとって甚大な被害となる直下型地震に対する災害対策をまず作るべきである。

答 中央構造線断層帯の被害想定が、県で策定される予定であるので、それが発表されたら、効果的な災害対策を講じたい。

問 これまでの一般質問で運転免許センターの誘致を提案してきた。旧阿波町庁舎がその適地であると思うが、再度誘致への取り組みについて伺いたい。

答 旧阿波町庁舎も候補地の一つとして、地域の中で持つべき機能や施設の活用方法など具体的な案を早急に検討し、関係機関に働きかけてまいりたい。

笠井 一司 議員

(志政クラブ)



問 昨年度策定した公共施設等総合管理計画によると、現在の公共施設を現状規模で維持していくためには、今後毎年55億円必要となる。現在の収支状況に今後の交付税の削減を考えると、将来毎年十数億円の財源不足が見込まれることになるが、公共施設の維持に伴う将来の財源不足にどう取り組むのか。

答 公共施設等総合管理計画での概算額ではあるが、行財政改革の更なる推進はもとより、財源不足の正確な捕捉を行うことで、個別施設の修繕や更新、更には統廃合といった施設ごとのスケジューリングを検討し、公共施設の維持管理に取り組んでいきたい。

問 阿波市の地震対策は、南海トラフの地震を想定して、防災計画を作ってきたが、起これば本市にとって甚大な被害となる直下型地震に対する災害対策をまず作るべきである。

答 中央構造線断層帯の被害想定が、県で策定される予定であるので、それが発表されたら、効果的な災害対策を講じたい。

問 これまでの一般質問で運転免許センターの誘致を提案してきた。旧阿波町庁舎がその適地であると思うが、再度誘致への取り組みについて伺いたい。

答 旧阿波町庁舎も候補地の一つとして、地域の中で持つべき機能や施設の活用方法など具体的な案を早急に検討し、関係機関に働きかけてまいりたい。

問 子育て環境の整備について。保育所幼稚園等施設整備計画について、現在の進捗状況と保育所の目的や役割、スケジュールはどうなっているのか。市としての基本的な方針は決まっているのか。

答 現在は運営方法、支援のあり方が各施設でそれぞれ異なっている。保護者アンケート結果等を参考に年度末までに策定計画をまとめた。

また、方向性を考える上において、子ども達や保護者の方々にどういった方法が一番良い方法なのかを最優先に考え、施設整備に取り組んでいきたい。

問 阿波市の地震対策は、南海トラフの地震を想定して、防災計画を作ってきたが、起これば本市にとって甚大な被害となる直下型地震に対する災害対策をまず作るべきである。

答 中央構造線断層帯の被害想定が、県で策定される予定であるので、それが発表されたら、効果的な災害対策を講じたい。

一般質問

松村 幸治 議員

(阿波清風会)



問 子育て環境の整備について。保育所幼稚園等施設整備計画について、現在の進捗状況と保育所の目的や役割、スケジュールはどうなっているのか。市としての基本的な方針は決まっているのか。

答 現在は運営方法、支援のあり方が各施設でそれぞれ異なっている。保護者アンケート結果等を参考に年度末までに策定計画をまとめた。

また、方向性を考える上において、子ども達や保護者の方々にどういった方法が一番良い方法なのかを最優先に考え、施設整備に取り組んでいきたい。



原田 定信 議員
(志政クラブ)



問 現在3支所は21人の職員が配置され2億円近い財源が費やされている。財政基盤が弱い本市にとって、その業務をコンビ二、J A等々で代行できるのでは。

答 高齢の方や体の不自由な方など、本庁に来ることができない方にとっては必要な施設と考える。他の市町村の例も参考にしながら研究していく必要があると考える。

問 アエルワの運営については5千万円という指定管理の金額が独り歩きして3年間で1億5千万円という高額で業者に落札された。そのために使用料金が高くなりホールを借りることができないのが現状ではないのか。

答 支出として、人件費が2300万円、2件の指定事業が840万円、維持管理費等が2660万円、約30万円の赤字となっている。今後も市と指定管理者の協力のもと、よりよい運営を目指したい。

問 徳島道の4車線化が徳島新聞で報道され、市長は今議会冒頭でスマートインターチェンジに弾みがついたと言われたが、あまりにも短絡的ではないか。この4車線化事業により、今後5年間はスマートインターチェンジについては進展がないということではないのか。

答 現在スマートインターチェンジ最適位置の検討を重ねている。出来るだけ早い時期に最適位置を決定し実施計画等の策定を行いたい。

森本 節弘 議員
(志政クラブ)



問 市内建設業者の建設技術の向上をどのように図り、また、不適格業者の対応はどのようにしているのか。

答 阿波市工事検査規程に基づき、厳正かつ的確な評定を実施し、請負業者の適正な選定及び指導育成に努めている。工事施工不良等のあった業者については、阿波市建設業者指定停止措置要綱に基づき建設工事審査委員会に諮ることにより、不適格業者が入札に参加することがないように努めている。

問 市内建設業者の災害時対応について、災害時の出動要請はどのように行うのか。

答 賛同をいただいた市内建設業者と災害時の応急措置に関する協定書を締結し、電話連絡等により出動要請を行い、昼夜を問わず素早い対応をいただいている。大規模災害発生時における出動要請となれば、多くの建設業者の協力を得なければならぬことから、状況に応じて各地域代表者の方と出動要請について協議を行い、不測の事態に備えたいと考えている。

問 阿波市公共工事最低制限価格制度を徳島県方式に変更する考えはないか。

答 建設業者の情勢や経済情勢に鑑み、県や近隣市町村も参考にし、制度の見直しを入札制度改善検討委員会において検討したい。

稲岡 正一 議員
(阿波みらい)



問 市民の所得向上について、農産物の貯蔵庫・二次加工場を作っては。また、農事組合法人の育成について組織化を図ってはどうか。

答 TPPによる市場開放や海外への輸出が進行する中、さらなるコスト削減と所得の向上を目指した経営改善を行うには、形式的な組織づくりでなく、計画的な出荷体制を確立したシステムが必要である。全国の産地と競合を調整するためには共同で利用できる施設の設置は重要と考える。消費者ニーズに沿った集出荷体制が確立することで、農家所得の向上につながるよう、国・県の補助事業を積極的に取り入れながら支援を図りたい。

問 金清の整備計画について。今年度どのような計画を立てているのか。

答 やすらぎ空間整備事業は、国土交通省交付金事業の都市再生整備事業による事業展開を図っている。本年4月に発生した熊本地震では、金清自然公園の立地条件に似たため池周辺がひどく損傷し、現在も復旧の見込みが立たない状況である。公園周辺の整備については、再度改めて様々な情報を収集し、総合的に最終的な結論を見出したい。

木村 松雄 議員
(志政クラブ)



問 交流防災拠点(アエルワ)の運営状況は。

答 成人式、戦没者追悼式、自治会長会、各種音楽イベント、講演会、市内小・中・高合同の音楽祭等、年間168日、54%の高い稼働率であり、3万9262人が利用し約30万円の黒字である。電気代は年額970万円、水道代は18万円である。食堂は一日平均85人の利用者であり赤字となっている。年間指定管理料5千万円は妥当であると考えている。今後はより適正な指定管理料の積算、検証を行っていく。

問 市税等について、平成27年度収入済額210億円余りに対し、市税等が35億円余り16.7%になっているが、市税等の収納率は。また、収入未済額は。徴収方法は。

答 わずかではあるが全ての税において前年度の収納率を上回っている。平成27年度市税等の収入未済額は合計で1億1935万円となっている。徳島滞納整理機構へ毎年30件移管している。本市においては市民負担の公平性を図るため、市税等収納率向上対策本部を設置し対応している。

問 阿波市地域公共交通について。本市においては鉄道がなく市内の一部しか生活交通網が形成されていない現状を市としてどのように捉えているのか。

答 平成29年度に阿波市地域公共交通網形成計画を策定し、将来を見据えた交通体系の構築に取り組む。

活動状況報告

- 9月5日 第3回阿波市議会定例会本会議 (開会)
- 14日 (代表質問、一般質問)
- 15日 (一般質問)
- 21日 総務常任委員会、産業建設常任委員会
- 23日 文教厚生常任委員会
- 26日 決算審査特別委員会
- 29日 第3回阿波市議会定例会本会議 (閉会)
- 10月11日 全員協議会、公職選挙法説明会
- 阿波市議会議員研修会
- 18日 全員協議会
- 21日 議会運営委員会
- 25日 第1回阿波市議会臨時会本会議
- 26、27日 文教厚生常任委員会視察研修
- 11月10、11日 総務常任委員会視察研修
- 15日 徳島県西部市議会連絡協議会議員研修会
- 16、17日 産業建設常任委員会視察研修
- 18日 議会広報特別委員会
- 21日 議会運営委員会、全員協議会
- 25日 観光開発特別委員会
- 28日 第4回阿波市議会定例会本会議 (開会)、全員協議会

●阿波市議会議員研修会

10月11日 議会委員会室において企画総務部危機管理課の松浦防災監による「『最後の砦』自衛隊の災害派遣活動」と題した研修会を行いました。

●文教厚生常任委員会視察研修

10月26、27日 京都府京田辺市 老人福祉センター及び児童館複合施設視察
滋賀県草津市 ICT教育について研修
大阪府高槻市 福祉事業について研修

●総務常任委員会視察研修

11月10、11日 京都府綾部市 空き家活用定住支援事業等について研修
兵庫県神戸市 災害受援計画及び防災対策について研修
阪神淡路大震災記念館・人と防災未来センター視察

●産業建設常任委員会視察研修

11月16、17日 宮城県角田市 交流人口増加の取り組みについて研修
宮城県大和町 段ボール工場視察

●第11回徳島県西部市議会連絡協議会研修会

11月15日、美馬市において松山大学法学部教授の妹尾克敏氏による「『自治体議会』改革の必要性と必然性」と題した研修会に出席しました。

平成28年第3回 阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表 (9月5日～9月29日)

議案番号	議案名	議決結果
議案第96号	阿波市市場中学校屋内運動場改築工事請負契約の締結について	原案可決
議案第97号	平成27年度阿波市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第98号	平成27年度阿波市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第99号	平成27年度阿波市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第100号	平成27年度阿波市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第101号	平成27年度阿波市伊沢谷簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第102号	平成27年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第103号	平成27年度阿波市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第104号	平成27年度阿波市御所財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第105号	平成27年度阿波市水道事業会計決算認定について	認定
議案第106号	平成28年度阿波市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決
—	平成28年度阿波市一般会計補正予算(第2号)に対する修正動議	否決
議案第107号	平成28年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第108号	平成28年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第109号	阿波市重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第110号	阿波市家畜市場設置及び管理に関する条例の廃止について	原案可決
報告第4号	平成27年度阿波市健全化判断比率及び資金不足比率について	—
議案第111号	教育委員会委員の任命について	同意
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任

平成28年第1回 阿波市議会臨時会 議案番号及び議決結果一覧表 (10月25日)

議案番号	議案名	議決結果
—	副議長選挙について	選挙
—	徳島中央広域連合議会の議員選出について	選挙
議案第98号	平成28年度阿波市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
決議第1号	藤川豊治議員に対する議員辞職勧告について	原案可決

平成28年第4回定例会は11月28日(月)に開会しました。
詳しい日程は、議会事務局(0883-36-8750)までお問い合わせください。

議会だより
編集雑感

日ごとに寒さ厳しい季節となり、本年も残すところ一か月となりました。今年を振り返ってみますと、4月の熊本地震、夏には東北・北海道への台風被害、10月の鳥取地震と多くの自然災害に見舞われました。被災された方々には心よりお見舞いを申し上げます。

また、10月には市民の皆様にも多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。新年を迎えるにあたり、阿波市議会も襟を正して、議会への信頼回復と阿波市発展のために一層努力してまいります。(阿部 雅志)